



平成23年3月号

No.624

広報

せとうち

SETOUCHI



スタートの合図で一斉に飛び出す第1走者

3月5日(土)・6日(日) LC杯小学生バレー大会

人口のうごき

平成23年2月1日

総人口	10,120	(-25)
男	4,851	(-13)
女	5,269	(-12)
世帯数	5,503	(-14)

カッコ内は前月との比較

今月の主な記事

- 町駅伝大会……………P2
- 議会だより……………P3
- お知らせ……………P16
- カレンダー……………P23
- 戸籍の窓……………P24
- まちの話題……………P25

【にほんの里100選】・【島の宝100景】の町

新春恒例の駅伝大会

高丘地区が優勝

1月9日、第35回町駅伝競走大会が行われ、14チームの選手たちが、10区間約21キロをタスキで繋ぎ、古仁屋市街地を駆け抜けました。

暖かな日差しの中で行われた大会の話題は、昨年のトップ3間の優勝争いで、連覇を目指す瀬久井東・清水チームと雪辱を期す高丘、瀬久井西チームの動向でした。



出発の合図を待つ第1走者



トップでゴールする静選手

レース序盤は、1区で首位に立った山郷チームが粘りの走りを見せませんが、中盤から自力に勝る高丘チームが抜け出し、瀬久井東・清水チーム、瀬久井西チームが追走する展開になりました。

最後は、全区間安定した走りをみせた高丘チームが昨年の雪辱を果し、優勝を勝ち取りました。

連覇を目指した瀬久井東・清水チームは、10区で区間1位の走りを見せましたが、追い上げ及ばず、2位に終わりました。



親から子へ タスキリレー

今年も、家族での参加が数組あり、親子間、兄弟姉妹間でのタスキリレーが見られ、観客から声援を送られていました。

前年の成績を元に設けられたBクラスの優勝は山郷チームで、昨年、選手が集まらず未参加だったチームを7位へと飛躍させた関係者の努力が実現しました。

躍進賞は、前年より約7分タイムを縮めた久慈チームに贈られました。

【総合順位】

順位	地区名	タイム
1	高 丘	1:16:20
2	瀬久井東・清水	1:20:29
3	瀬 久 井 西	1:22:38
4	実 久	1:24:31
5	春 日	1:25:26
6	大湊・須手・手安	1:25:29
7	山 郷	1:25:49
8	油 井	1:25:51
9	久 慈	1:27:43
10	船 津	1:29:11
11	松 江	1:30:31
12	篠 川	1:31:23
13	嘉 鉄	1:31:50
14	鎮 西	1:34:45



最終走者へ（高丘）タスキリレー



区間1位の走りをみせた佐多選手



優勝した高丘チーム



チームの期待を背に走る第1走者

躍 進 賞	久慈 チーム
-------	--------

せとうちちょう 議会だより

第140号

平成 23 年 2 月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地

魅力あるまちづくりに
議員一丸頑張ります



副議長
岡田 弘通



議長
文俊

12月定例会にて

議会構成決まる



委員
文俊



委員
和弘



委員
岩井 義照



副委員長
林 健二



委員長
向野 忍

総務経済常任委員会



委員
岡田 弘通



委員
中村 義隆



委員
渡島 芳臣



副委員長
池田 啓一



委員長
鎌田 愛人

文教厚生常任委員会

第4回(12月)定例会

- ★こんなことを決めました…P4
- ★一般質問(7名が登壇)…P5~10
- ★委員会活動…P11~14
- ★編集後記…P14

委員
池田 啓一

委員
向野 忍

委員
岡田 弘通

副委員長
鎌田 愛人

委員長
林 健二

議会運営委員会

こんなことを決めました

第4回(12月)定例会は、12月10日～15日までの6日間の日程で開かれ、議長、副議長の選挙や補正予算議案8件、同意議案2件、その他議案1件の計11件の議案を審議し可決しました。(主な議案等の要旨は次のとおりです。)

一般会計補正予算 (第5号)

奄美豪雨災害復旧費として4億6195万円を補正

主な内容は、奄美豪雨災害復旧費として農地災害復旧費に3749万7千円、林道災害復旧費に1億86万9千円、道路橋梁河川災害復旧費に3億1559万円の合計4億6195万6千円、被災者生活支援金280万円、季節性・新型インフルエンザ予防接種委託料885万5千円、林道改良(嘉徳青久線)1621万円、瀬戸内町PRプロジェクト事業委託101万4千円、急傾斜事業(大湊地区)300万円、枯れ松支障木除去(町内一円)323万円、繰出金として国民健康保険特別会計に1億

円、簡易水道事業特別会計に2345万4千円などです。

総額6億6836万4千円を追加しました。

瀬戸内町過疎地域自立促進計画

過疎地域自立促進特別措置法により平成22年度(27年度までの6箇年間)において総合的かつ計画的な自立促進のための「瀬戸内町過疎地域自立促進計画」を①産業の振興、②交通通信体系の整備・情報化及び地域間交流の促進、③生活環境の整備、④高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進、⑤医療の確保、⑥教育の振興、⑦地域文化の振興等、⑧集落の整備、⑨その他地域の自立促進に関し必要な事項、以上9項目にわたり、総額137億4050万6

千円(うちソフト事業分10億3971万2千円)の計画策定をしました。

教育委員会委員に
浅野浩史氏

固定資産評価審査委員会委員に
町田重孝氏
望月昭男氏
久保浩康氏

議長に
堯 文俊氏当選
(選挙結果)
堯氏 6票
無効 4票
副議長に
岡田弘通氏当選
(選挙結果)
岡田氏 6票
無効 4票

臨時会

平成23年第1回臨時会が、1月12日に開催され、議案3件を可決しました。(主な議案の要旨は次のとおりです。)

一般会計補正予算 (第6号)

主な内容は、地域活性化(きめ細かな・光をそとく)交付金事業1億1677万9千円、障害者自立支援費800万円などです。
総額1億9677万9千円を追加しました。

ごみ収集車購入契約
加計呂麻地区のごみ収集を安定かつ円滑に運営するために車両を購入するもので合資会社要モータースと688万3150円で契約しました。

一般質問

第4回定例会では、7名の議員が町政全般に亘り、議論を交わしました。一部を要約して、紹介いたします。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



渡島芳臣議員

議員 災害対策について

今回の豪雨災害の被災者支援対策及び災害を教訓にした緊急対策の現状と今後の取り組みをお伺いいたします。

町長 被災者支援対策としては、自主避難者の健康状態のチェック、床上浸水世帯に日本赤十字社の救援物資の配布、一時孤立した集落に飲料水の搬入や非常炊き出し等をいたしました。今回の災害では、固定電話が不通になる等、一時的に通信手段が絶たれたこと

で災害対策に支障を来しましたので、役場やその他必要と判断される数箇所に衛星電話の設置、また孤立の可能性の高い地区には、可動式防災無線電話を配備しておりますので、使用方法の研修を集落民へ実施し、へき地区における非常時通信手段等の確保に努めたいと思います。

議員 高齢者の福祉について

高齢者の生活向上のために、どのような支援を行っているのか、お尋ねします。

町長 高齢者の生活支援施策については広範にわたりますが、医療介護の法的支援のほか町独自の支援としては、次のとおり取り組んでおります。
・無料乗車、乗船事業（80歳以上）

- ・敬老祝い金支給事業（85歳）以上
- ・長寿記念品支給事業（90歳、100歳）
- ・老人クラブに対する活動費支援事業
- ・在宅福祉アドバイザー要請講座
- ・一次介護予防事業（旧一定高齢者施策）
- ・二次介護予防事業（旧特定高齢者施策）
- ・その他の地域支援事業等であります。

等であります。

議員 文化財の発展について

諸鈍シバヤが奉納される大屯神社境内の整備計画及び見物客の輸送方法も改善すべきと考えますが対策をお尋ねします。

町長 各地区には少なからず神社等は点在しており、実久地区には「実久三太郎」

清水地区にみられる「厳島」等、そこに住む住民にとっては、経費が多額になる神社等の修復及び改修工事は念願であると思いますが、「公共性」のバランスからして、支援には至らないと考えます。あくまでも、町費支出の目的・効果は自治活動の支援と考えています。諸鈍シバヤ見物客の輸送方法の改善については、「フェリーかけろま」の運行日程を一部変更し、見物客の利便性を考慮した改善が図られているところでもあります。



国の重要無形文化財に指定されている諸鈍シバヤ



岡田弘通議員

議員 奄美集中豪雨による災害対策について

議員 一．義援金の支給については一日も早く年内にすべきではないか。また、床下浸水の世帯にも支給する考えはないか。

町長 義援金の支給については一日も早く支給したいと考えています。床下浸水世帯についても他市町村も支給しているので、そのように検討いたします。

議員 二．今回の災害復旧作業に地元建設業界が迅速に対応されたとの町長からも感謝の言葉もありました

が、今後の工事の発注については、町はもちろん県発注工事についても本町業者へ発注されるよう、県に強力に要請すべきと思いますが、その考えについて伺います。

町長 瀬戸内事務所にも強く要請したいと考えております。

議員 三．自衛隊による今回の災害復旧活動、また、本町での防災訓練を通して、本町への陸上自衛隊の配備は是非必要であると思いますが、町において誘致活動組織を設置し誘致活動を積極的



陸上自衛隊による防災訓練
(海の駅ひろばにて)

に行うお考えはないのか伺います。

町長 今後の検討課題とさせていただきます。

議員 加計呂麻島の中学校統廃合について

議員 一．現在の校ある中学校を1校に統合し、開校目標の平成24年度へ向けて準備を進めているとのことであるが、単に統合するのではなく、加計呂麻、請・与路島住民の拠点ともなる教育・文化・スポーツ等の複合施設を整備し、地域住民が統合して良かったという学校整備を図る必要があると思うが、町長、教育長の考えを伺います。

町長、教育長 中学校規模を見直し推進本部会議等において検討し、加計呂麻地域住民の拠点施設となるよう努力して参ります。

議員 二．中学校が統合されると島内が通学路となるので、加計呂麻島一周道路として県道昇格に向けて県と折衝すべきと思うが、このような考えはないのか伺います。

町長 これまでも県道昇格を要請して参りましたので、この機会に引き続き要請して参ります。

議員 過疎対策事業債について

町長 今回の過疎法の改正によりソフト事業も実施できるようになったが、活性化対策等の事業が計画されていない。今後は①雇用創出、②定住対策、③建設業者の経営強化事業等を計画すべきではないか。また、大島海峡等活性化基本計画書も、この過疎債のソフト事業で策定すべきと思うが、その考えはない

町長 災害調査については課内独自の体制により初期の報告がなされましたが、査定に係る用地関係が問題となっております。今後、



向野 忍議員

議員 奄美豪雨災害に対する取り組みについて

町長 今回の災害対策体制についての反省点と今後の改善策について伺います。

町長 災害調査については課内独自の体制により初期の報告がなされましたが、査定に係る用地関係が問題となっております。今後、

用地取得を含め、地籍調査業務機関の拡充及び査定設計に係る技術職員の協力体制の確立が必要と考えております。

議員 来年度予算編成について

公共事業推進と雇用創出等の事業予算化の見通しについて伺います。

町長 投資的経費についてはシーリング対象外としており、普通建設事業費で対前年度およそ5000万、5%程度の増額となる見込みであります。雇用関係事業として「ふるさと雇用再生特別基金事業」、「緊急雇用創出事業基金事業」の計上を予定しております。

議員 財政健全化対策について

一、瀬戸内町補助金等適正

化検討委員会設置に至るまでの経緯について伺います。

町長 平成19年度決算委員会意見書（平成20年9月議会）において「行財政改革に伴い、補助金の見直しを含め適正化を図りたい」との指摘を受け、平成20年10月に基本指針を策定し、平成22年8月に外部の評価委員を加え検討委員会を設置しました。平成21年度補助交付金事業等8事業について評価を行い報告書が提出されました。

議員 一、瀬戸内町補助金等適正化検討委員会評価結果について町長の見解を伺います。

町長 事業の公益性、効率性、公平性、優先性、必要性の観点から、「継続」「廃止」「見直し」「統合」のい

ずれかによる総合評価が行われました。報告書では全体的な指摘事項として7項目、改善すべき主な事業として6事業が例示され、町民目線での斬新な事業評価がなされたものと考えます。

議員 古仁屋高校の存続・活性化対策について

古仁屋高校の存続・活性化に向けた今後の取り組みについて伺います。

教育長 一、1学級の定員40人を30〜35人定員に見直すよう関係機関に要求する。
二、町内の中学卒業生（特に加計呂麻地区）の入学希望者を増やす取り組みを強化する。
三、魅力ある古仁屋高校へ向け、努力精進している学校側への支援体制づくりを強化する。

四、「古仁屋高校を支援する町民の会」を中心に、関係機関、関係団体等との連携を図る。



魅力ある学校づくりに取り組む古仁屋高校



中村義隆議員

議員 町民の安心、安全について

一、10月20日の奄美豪雨災害を教訓として本町の課題や今後の取り組みを伺います。

町長 解消策として、役場その他必要と判断される数箇所には衛星電話を設置、また孤立が予想される地区においては、可動式防災無線電話を配備しておりますので、集落民の方々へ使用方法の研修を実施し、へき地区における非常時通信手段の確保に努めたいと思います。

議員 二、防災行政無線に代わるコミュニティラジオ放送局の整備を進めていますが、開局に向けての取り組みを伺います。

町長 コミュニティラジオ放送は、地域の生活に密着した情報の提供に併せて防災、災害情報などの緊急放送も防災無線放送から割り込み放送できることから、よりきめ細かな情報を提供できる施設として、平成23

年度の起債事業での整備を予定しています。

議員 生活排水施設整備について

長期計画では来年度より下水道整備に着手する予定になっていますが、計画はどのようになっているのか伺います。

町長 平成20年度決算からの財政健全化法により地方債の許可制限指標が新たに示されたことにより、更に厳しい状況になるということも予想されることから、合併浄化槽推進の考えも含めて、住民にとって、より効果的な方向での整備をしてまいりたいと考えております。

議員 福祉行政について

一、第3回定例会で高齢

者の「肺炎球菌ワクチン」の助成については取り組んでいきたいと答弁がありましたが、どのように検討されたのか伺います。

町長 平成23年度から助成が実施できるよう予算計上したところであります。

議員 一、生後3ヶ月から5歳になる子供たちがかかるヒブ髄膜炎の予防接種であるヒブワクチン接種費用の助成は検討できないものか伺います。

町長 先般、国の補正予算が成立したことに伴い、助成金に対する補助財源として県へ基金も設置されることから、他の市町村の動向を見据えつつ適切に判断したいと考えております。



安 和弘議員

議員 本町路線バスの運行体系について

一、瀬戸内海浜バス、加計呂麻バス2社のデマンド運行前と運行後の利用状況、デマンド運行の効果について伺います。

町長 デマンド運行前と運行後の利用状況ですが、瀬戸内海浜バスについては、清水運動公園からの利用者数の減少が見られますが、加計呂麻バスについては、もともと利用者数の少ない地区でありますので利用者数に大きな変化は見られません。デマンド運行の効果につきましても、乗車密度

の向上と運行経費の節減等の効果が出ております。

議員 二、補助対象路線故それぞれ自助努力をされていると思われるが、具体的にどういうことをしているのか伺います。

町長 自助努力としまして、観光客誘致に伴う貸切バス等の利用促進、往復割引券の発行、高齢者の自動車免許返納者割引、乗降時の高齢者への援助等を実施しております。

また、加計呂麻バスにつきましても、高齢者の乗降時の援助、荷物の運搬、さらに積み下ろし時には家まで届けるなど、お客様へのサービスも行っております。その他社員のガイドの養成や老朽化の進む車両の整備についても自社で行っております。

議員 三、2社の経営状況はどうなのか伺います。

町長 バス利用者の減少などから運行収入の増が見込めず、非常に厳しい経営状況にあります。

平成21年度の欠損額は、瀬戸内海浜バスで2876万6千円で対前年度比246万3千円の減、加計呂麻バスが3709万1千円で対前年度比229万4千円の減と欠損額が縮小されてきており、自助努力による諸費用の削減に努めているものと思われれます。

議員 本町の農林水産業の振興について
農業、林業、水産業に町としてどのように関わっているのか、また、それぞれの振興に、今後どのような施策をされようと思われるのか具体的に伺います。

町長 農業を取り巻く環境は厳しさを増しており、特に政府が参加検討を表明した環太平洋連携協定（TPP）が実施された場合、本町の農業へ甚大な影響を与えることは確実であります。

今後関係機関と連携を取りながら重点品目の推進を図っていきたいと思います。

林業については、山地災害の防止、水源涵養・生活環境保全等の公益的多様な機能を維持する健全な森林計画を目指し、森林資源の維持管理及び増進に努めてまいります。

漁業を取り巻く環境も一段と厳しい状況ですが、漁協と連携を図りながら、離島漁業再生支援交付金事業を継続して実施するとともに、養殖事業を中心とした、より生産性の高い安定した水産業の振興策を図り、産

業雇用の創出等、雇用の安定が図られるよう努力してまいります。



鎌田愛人議員

議員 議会からの意見のその後について

一、大島地区衛生組合への正式加入に向けての方向性は。

町長 大島地区衛生組合における名瀬クリーンセンター



大島地区衛生組合への早期加入を（写真は名瀬クリーンセンター）

建設に伴う起債の償還期間が、平成23年度で終了するということでもありますので、平成24年度から新たなスタートとして、大島地区衛生組合への加入に向け努力してまいります。

議員 二、「瀬田良一」教育振興人材育成基金の一部を

スポーツ・文化活動で頑張っている、町内の小中学生、古仁屋高校生の人材育成のために活用できないか。

教育長 同基金は大学入学一時貸付基金として貸付を行っております。今後は大

学入学一時貸付事業の結果を踏まえた上で、活用をどうするか考えていきたいと思えます。

議員 三、中学校規模適正化について加計呂麻地区以外についても検討すべきでは。

教育長 西方地区など本島側の保護者や地域住民からも、学校の規模見直しへ向けた気運が高まる可能性があると思えます。

具体的な地域住民の声が出てきた場合には、検討することになると思います。

議員 四、古仁屋小学校への特別支援教育支援員の拡充は図れないか。

教育長 古仁屋小学校のみではなく、町全体の学校を対象とした特別支援教育支援員の配置について、積極的に勧めていきたいと考えております。

議員 五、民間の「認可外保育所」への公的助成を求め、陳情について町長の見解を伺います。

町長 かな保育園に対しま

しては0歳児保育、待機児童受入れ等、保育行政の各般にわたり感謝しているところであります。

国の子育て新制度の法案等の動向を見ながら慎重に状況を判断するため、現在調査検討を進めているところであります。

議員 自衛隊の拡充と誘致について

中央の防衛省、政府・民主党に直接要望活動をする必要があると考えるが、その考えはないか。

町長 隊員が1千名減るといふ中で、今動いて誘致を進めることは、いかがなものか、今後検討していきたい。

●その他の質問
教育問題（集合学習の増・特認校制度のモデル校の選定、研究について）



岩井義照議員

議員 政策について

一、1期4年の政策について、町長ご自身の評価をお聞かせ下さい。

町長 これまで実施している政策の一部を紹介します。観光大使12名を任命しました。特に「べっさん」の計らいで「笑つていいとも」に出演し全国に「奄美シーカヤックマラソン大会」を宣伝すると共に、瀬戸内町を大いに全国へPRしました。情報の基盤整備として町内全域のブロードバンド化を図りました。

を町民に啓発しました。また、桜オーナー制度を活用し清水運動公園の整備をしました。観光面では、「島の宝100景」に選定された与路島の石垣の再生を行いました。行財政改革においては、集中改革プランに基づき積極的に取り組みました。その他、マニフェストに基づいた様々な事業や施策が進展中であります。

議員 二、農林水産業についての政策をお聞かせ下さい。

町長 農業政策については、重点品目の計画的規模拡大を図り面積拡大と生産額増大に努めています。林業については、地球温暖化防止を始めとして、山地災害の防止、水源涵養・生活環境保全等の公益的多様な健全なる森林育成を

指し、森林所有者、森林組合との計画的な森林施行の調整を図り、森林資源の維持増進に努めています。

水産業については、漁協と連携を図りながら、漁業経営の安定化と生産性の効率化を図り、現在実施しております離島漁業再生支援交付金事業やサンゴ保全対策事業等を継続して実施してまいります。また、養殖業を中心とした、より生産性の高い安定した水産業の振興策を図ります。

議員 三、公共事業についての政策をお聞かせ下さい。

町長 平成20年度からの国の景気対策により、地域活性化・生活対策臨時交付金事業6500万円にて橋梁概略・詳細点検業務委託及び4地区の集落内環境整備工事、仲里川河川整備工事

を実施しました。平成21年度においては、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業6200万円にて市街地4箇所(河川・道路)の整備工事と5地区の集落内環境整備を実施しました。

議員 四、教育政策についてお聞かせ下さい。

教育長 高速インターネットの整備や古仁屋高校通学補助の増額を行いました。加計呂麻地区中学校規模見直しについては協議進展中であり、また、加計呂麻地区自校給食調理場の廃止を行い、予算の軽減を図りました。



～議会を傍聴しませんか～

次回の定例会は3月に行われます。どなたでも傍聴できますので、

お気軽に議会事務局へお問い合わせ下さい。(72-1072 直通)

委員会活動

第4回定例会では、総務経済常任委員会（向野 忍委員長）、文教厚生常任委員会（鎌田愛人委員長）に付託されていた案件に対しての委員長報告がなされました。（要旨は次のとおりです。）

総務経済常任委員会

所管事務調査
『産業振興（地産地消）に関する調査』

本町の豊かな自然や気候風土の中で生産される農林水産物の地域内流通を促進し、地域内自給を高めるとともに、農林水産業振興による地域活性化を図る目的

で調査を行いました。

◎給食センターの取り組み

個人農家から野菜類、漁協から魚類等を納入している。昨年の実績は、全体で2700万円に対し150万円（5.6%）の納入額でありました。

◎水産振興課の取り組み

平成17年度から21年度までの5年間、離島漁業再生支援交付金事業により魚食普及活動等を行い、レンジコダイの一夜干などの干し物を開発してきたとのことでありました。

◎農林課の取り組み

奄美大島地区農産物地産地消推進協議会に加盟し、「かごしま地産地消推進店」への登録店推進活動等を行っている。その他、地産地消のぼり旗作成、奄美大島産をアピールする黒うさぎの絵柄入り袋作成や利用促進活動も行っていている

のことでありました。

【課題】

各課が地産地消に取り組んでいるが、更なる地産地消推進のためには、推進計画を策定し、お互い連携すべきではないか。また、地産地消推進のため、特産品開発の方策も考えるべきであるとの意見がありました。

◎名瀬中央青果棟

森米勝代表取締役の説明によると、昭和40年に外海離島初の公設市場として開設し、奄美群島唯一の青果物流通の拠点として、地場産品生産の拡大と農産物の品質向上及び農業所得の向上に寄与しており、平成22年10月より現在の長浜町に移転したとのことでありました。

地場青果物の出荷者数は、奄美群島全体で約2100名、うち瀬戸内町130名である。出荷は誰でも少し

でも出荷でき、買受人数は奄美市の買受人許可を受けた85名とのことでありました。

【課題】

奄美群島各地からの農産物の搬送体制の確立を目指したい。大和村が、緊急雇用創出事業臨時特例基金事業により農家の巡回や農作物の集荷を行う人材を新規雇用しているのは非常に良い例であり、他の市町村にもお願いしたいとのことでありました。



名瀬中央青果棟を調査する
総務経済委員

◎奄美市農林産物直売所『ゆていもれ』

地元農家からの島野菜や

奄美特産品、加計呂麻産の塩等を販売。責任者の加藤清満氏（薩川出身）より説明を受けました。

会員30名（105000円の出資金）から始め、2年後には会員120名となった。現在年間30000円の組合費である。

登録57農家のうち20数農家が出荷しているが、農家の高齢化が進み平均年齢74歳である。運営面で厳しい状況であった。

また、農業体験ツアーで瀬戸内町のキビ刈り黒糖作りツアー等も企画しているとのことでありました。

◎瀬戸内漁協

叶組合長、浜田参事、上田担当より聴き取り調査を行いました。

【現状】

●鮮魚店・仲買業者の状況
仲買人は30名のうち大口仲買人12名、小口仲買人18

名である。

鮮魚店は22店舗中2店舗が休業し、移動販売は2名である。高齢化が進み、最
高年齢88歳で平均年齢72歳であり、鮮魚店や移動販売の方々は昔ながらの固定客で成り立っている状況と
のことでありました。

●二次製品の販売状況

海の駅直売店「海力」の平成21年度売り上げは、生鮮魚貝藻類が約14トンの2016万円、水産製品・加工品が約2.5トンの613万円、合計約16.5トンの2629万円でありました。

●過去5年間の漁獲量・漁獲高の推移

全体で約6億5000万円から7億8000万円ではほぼ横ばいである。内訳は養殖(67%)、カツオ一本釣(9%)、瀬物一本釣(8%)、ほこ突き(6%)、深海延縄

(4%)、追込網(3%)、

員外船他(2%)、小型定置網(0.5%)で養殖以外は細々とやっている状態であるとのことでありました。



瀬戸内漁協にて調査を行う
総務経済委員

【課題】

地元業者は、町外出荷経費に関して、海路・陸路に頼らざるを得ず、本土に比べ様々なリスクを負っている。このためこれらの環境整備を早急に対応願いたいとのことでありました。

◎海の駅「朝市」

6店舗と漁協直売店「海力」が出店していた。誰でも500円で出店でき、1店舗平均1万円ほどの売り

上げであるとのことでした。加工品等の出店が多く、地場農産物等の地産地消推進という朝市本来の目的が薄れてきていると感じました。

◎瀬戸内町シイタケ生産組合

渡俊久代表より説明を受ける。旧節子養豚団地の豚舎を1棟5万円で5棟町より賃借し、約7500本のシイの木原木で生産しており、室内温度を約14℃以下に保つように管理しているとのことでありました。平成23年度には生・乾燥シイタケ合わせて合計433万円の生産額を目標にしているとのことでありました。

また、生シイタケの鮮度を保ち流通経路にのせるためには、真空パック機や乾燥機等が必要であるので、高率補助の事業導入をお願いしたいとのことでありま



シイタケ栽培を調査する総務
経済委員 (旧節子養豚団地)

以上で調査を終了し、次の意見を町当局へ提出しました。

『産業振興(地産地消)に関する調査』意見

1. 本町独自の「地産地消推進計画(仮称)」等を策定し、行政のみならず、生産者、農協、漁協、商工会、森林組合等各種団体や消費者との連携を密に図られたい。
2. 加計呂麻島、与路島、請島等離島からの生産物運賃負担軽減や集荷人材育成等の搬送体制の確立を図ら

れたい。

3. 「鹿児島・奄美離島航路(裏航路)の上り便の古仁屋港寄港増便」や「県道名瀬瀬戸内線・曾津高崎線改良事業」の早期実現に向け鋭意努力されたい。

4. 農林水産業の新規就業者の事業確立のため、更なる支援・指導を図られたい。

文教厚生常任委員会

所管事務調査
『教育施設に関する調査』

町内の教育施設の現況調査を行い、本町教育施設の充実を図ることを目的に調査を行いました。

◎伊子茂小中学校

小学校3学級5人、中学校2学級6人の児童生徒数である。

平成24年度に加計呂麻島

の中学校6校の統合予定場所となっており、統合を見据えた上での問題点として、

・校長室、職員室の増が必要である。

・理科室、家庭科室の水道設備、イス、机の増が必要である。

・女性職員は、トイレを更衣室代わりとして使用している。

・体育館、教室の天井に雨漏り箇所がある。

・職員の駐車場は、西家の土地を学校と西家が契約している等が挙げられました。

委員より、統合校となるため、施設管理のうえから町に対する要望等はより詳細にすべきである。女性用トイレが少ない。駐車場を

西家と学校が契約しているが、内容を精査し町が介入すべきではないかなどの意見がありました。

◎阿木名小中学校

小学校6学級71人、中学校3学級29人の児童生徒数である。

施設の問題点としては、校内放送が体育館と図書室では聞こえず、職員室にテレビがないため、災害、緊急時の情報が入らない。

・職員室校舎と中学校普通校舎の渡り廊下の屋根がなく、雨天時の移動に支障がある。

・校舎周辺の側溝に蓋がないため、技術の授業で作成した木製の蓋を使用しているが、長持ちせず、破損するため危険である。

・小学校の3年生教室の黒板の後ろから水漏れがある。

・特別教室の床がはがれ、危険である。

・校庭の表面の土が大雨時流される等が挙げられました。

委員からは、理科室、家

庭科室の床は土間にすべきでは、勝浦の教員住宅は目隠しフェンスをし、居住者のプライバシーが守られるよう配慮すべきであるとの意見がありました。



阿木名小中学校を調査する文教厚生委員

◎中央公民館

施設の問題点としては、

・築45年が経過し、ほとんどの部屋で雨漏りがある。

・台風時に単独停電が多く発生する。要因は配電盤に

水が浸入し、漏電を引き起こしているものと思われる。

・昭和63年に設置したホールのクーラーが限界にきて

いる。

・男性用トイレはすべて和式となっている。

・館長室が放課後、子ども教室の事務室になっている等が挙げられました。

委員からは、男性用のトイレの洋式化及び内部の部屋の配置替えが必要ではないかとの意見がありました。

◎清水運動公園

施設の問題点としては、

・陸上競技場の芝生部分の水はげが悪い。

・軟式のテニスコートの人口芝生化への整備が急務である。

・10月の奄美豪雨により背後の山が崩落、土砂がテニスコートに流出している。

・体育館の屋根が強雨時には雨漏りがある。

・公園の遊具が老朽化により使用できない等が挙げられました。

委員より、陸上競技場の抜本的な改修が必要ではないか。

いか。

また、体育館横の洗い場は合宿等に使用するので整備が必要であるとの意見がありました。



陸上競技場の排水溝関係を調査する文教厚生委員

◎学校給食センター

施設の問題点としては、

・施設内のトイレが1箇所しかなく支障を来たしている。

・食品庫に空調設備がない。

・ダクトのペンキが剥げ、保健所より指摘を受けている。

・機器類も昭和54年の開設時のものを使用しているが、機器類は国、県の補助対象外となっているため、施設

の建て替えでないと補助金がないとのことでした。

委員からは、他の市町村の施設を調査し、比較する必要があるとの意見があり、平成22年9月に開設した奄美市立笠利学校給食センターを調査することにしました。

●奄美市立笠利学校給食センター

同施設は、安全、安心な学校づくり交付金事業（平成20年～22年）で、総事業費約5億4300万円（事業費内訳、国庫補助金6100万円、辺地債4億3600万円、一般財源4500万円）をかけて建設し、平成22年9月より供用開始しています。

処理能力は1日当り1000食で現在650食を提供しており、厨房は完全ドライシステム方式でありました。

◎古仁屋小学校

児童数は14学級の365人である。

学校側からの要望として、
・児童数、職員数からしてトイレの数が少ないのでトイレの増設。
・水道施設の増設。

・北、東校舎1階の網戸の設置。

・体育館窓ガラスのサッシ化。

・大雨の際に中学校側、上段校庭、神社、国道等からの水が学校内の溜桝に集中し容量をオーバーするため水が校庭に流入して校庭の土が学校外に流されることから、校庭東側と体育館、校舎周りの側溝のグレーチング化。

・地盤沈下の影響かプール全体が傾き、コンクリートに亀裂が入っている。

委員からは、国道の側溝からの水が学校内の溜桝に

入らないようにするよう、大島支庁瀬戸内事務所要望すべきである。また、大雨時による学校校庭の土砂流失への対応については、原因を突き止め、問題解決をすべきであるとの意見がありました。



古仁屋小学校を調査する文教厚生委員

以上で調査を終了し、次の意見を町当局へ提出しました。

『教育施設に関する調査』意見

1. 学校施設について
① 土砂流失防止の対策を講じられたい。特に古仁

屋小学校については、県とも早急に協議されたい。

② 古仁屋小学校のトイレ施設の増を図られたい。

③ 阿木名小中学校については、職員室と教室間の屋根付渡り廊下の整備を図られたい。

④ 勝浦教員住宅の目隠しフェンスの早期設置を図られたい。

⑤ 伊子茂小中学校については、統合予定校となっているので施設の充実を図られたい。

2. 給食センターについては、建設に向けた用地確保を検討されたい。

3. 中央公民館については、建て替えまでの間の利用者の利便性向上に努められたい。

4. 清水運動公園については、グラウンドの排水対策及びテニスコートの整備を早急に図られたい。

編集後記

時下、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は、奄美集中豪雨災害により本町も多大な被害を受けましたが、現在は国・県、関係機関等のご尽力により復旧・復興が着実に進んでいるところですが、また、全国から多額の義援金等を頂き心から感謝申し上げます。

さて今年も卯の年、飛躍の年にしたいものです。地方主権の時代、我々地方議会の役割・使命を自覚し活動していきます。

町民の皆様、叱咤激励をお願い致します。(向野)

議会報編集委員会

委員長 向野 忍

副委員長 鎌田 愛人

委員 堯 文俊

委員 岡田 弘通

委員 林 健二

委員 吉見 洋和

お知らせコーナー

☆ 平成23年度道路伐採人夫(本島地区)募集について ☆

【応募資格】

- ① 瀬戸内町（本島地区）に住所を有している20歳～65歳までの方
- ② 町税及び使用料等に滞納がない者（同一世帯を含む）

【応募期間】：平成23年3月1日（火）～3月15日（火）まで（土・日・祭日は除く）

※ 郵送可 3月15日（火） 消印有効

【申込手続】：所定の申込書兼履歴書を建設課土木施設維持係へ提出のこと。

（申込書兼履歴書は、役場建設課に置いてあります。）

【採用方法】：書類選考及び面接を実施。

採用者には別途通知いたします。

【雇用期間】：平成23年4月1日～平成23年8月31日まで

【職 種】：道路伐採

【そ の 他】：募集人員4人・（15日/月）雇用

伐採経験者に限る

【問合せ先】：〒894-1592 瀬戸内町古仁屋船津23番地

町役場建設課 土木施設維持係 Tel 72-1111（内線106）

72-1120（FAX）

☆ 平成23年度道路伐採人夫(加計呂麻地区)募集について ☆

【応募資格】

- ① 瀬戸内町（加計呂麻地区）に住所を有している20歳～65歳までの方
- ② 町税及び使用料等に滞納がない者（同一世帯を含む）

【応募期間】：平成22年3月1日（火）～3月15日（火）まで（土・日・祭日は除く）

※ 郵送可 3月15日（月） 消印有効

【申込手続】：所定の申込書兼履歴書を建設課土木施設維持係へ提出のこと。

（申込書兼履歴書は、役場建設課に置いてあります。）

【採用方法】：書類選考及び面接を実施。

採用者には別途通知いたします。

【雇用期間】：平成23年4月1日～平成24年3月31日まで

【職 種】：道路伐採

【そ の 他】：募集人員4人・（15日/月）雇用

伐採経験者に限る

【問合せ先】：〒894-1592 瀬戸内町古仁屋船津23番地

町役場建設課 土木施設維持係 Tel 72-1111（内線106）

72-1120（FAX）

3月6(土)～7日(日) LC杯小学生バレー大会

広報せとうち（16）

10.20 瀬戸内町豪雨災害義援金受付終了とお礼

平成22年10月20日発生した豪雨災害に対しまして、皆様には早速の心温まるお見舞い・励ましのお言葉、救援物資さらには多額の義援金を賜り誠に有難うございました。

当災害に対する義援金の受付を保健福祉課で行ってまいりましたが、平成23年2月4日をもって終了させていただきました。下記に義援金の受入及び配分状況を報告し、お礼といたします。

なお、義援金を口座振込で送金いただいた方には、領収書を送付してない方がおられます。領収書が必要な場合はお問い合わせ下さい。

義援金受入額	11,394,000 円
義援金配分額	一次配分 床上浸水 70,000/世帯
	二次配分 床上浸水 284,000/世帯
	床下浸水 30,000/世帯

【義援金領収書等の問合せ先】瀬戸内町保健福祉課 保健福祉係 TEL 0997-72-1068

(幹部候補生・一般曹候補生・予備自衛官補・貸与学生) 募集中

	一般・技術	応募資格	将来の展望
幹部候補生	一般・技術	20歳以上26歳未満の者 (22歳未満の者は大卒(見込み含む) 大学院※修士課程修了者は28歳未満 (海上自衛隊技術幹部候補生志願者は、理工学課程修了者に限る)	一般大学等の幹部自衛官候補者。採用とともに陸・海・空曹長に任命され、幹部候補生として約1年間の教育を受けた後3等陸・海・空尉(大学院※修士課程修了者は2尉)昇任し幹部自衛官になります。
	歯・薬剤	「歯科」20歳以上30歳未満かつ専門の大卒(見込)者 「薬剤」20歳以上28歳未満かつ専門の大卒(見込)者※ ※学校教育法に基づく大学において、正規の薬学の課程(6年生の課程に限る)を修めて卒業した者。 薬剤師国家試験の受験資格がある者のうち、学校教育法に基づく大学院において、正規の薬学の課程を2年以上修め薬学博士の学位を受けた者	自衛隊の衛生分野において、医療衛生業務に従事する幹部自衛官となります。歯科医師または薬剤師の免許取得後2等陸・海・空尉となります。 (薬剤師免許取得者のうち旧4年生課程を卒業した者は3等陸・海・空尉)になります。
一般曹候補生		18歳以上27歳未満の者	採用後、所要の教育訓練を終了すると部隊に配属され、部隊勤務を通じて曹としての教育を受け、採用後2年9ヵ月経過以降選考により3曹に昇任します。また、将来は幹部への道も拓かれます。
予備自衛官補	技能公募	18歳以上で各種国家資格等を有する者 (年齢は技術区分ごと上限を設定)	2年以内に10日の教育訓練を受け、終了した者は終了の翌日に陸上予備自衛官として任用されます。
	一般公募		18歳以上34歳未満の者
貸与学生	技術	大学の理学部、工学部の3、4年次または大学院※修士課程に在学し採用年次に該当する者 (詳しくはご連絡下さい)	理・工系の大学又は大学院に在学する者で卒業(終了)後自衛隊に勤務しようとする者に学資金(月学54,000)を貸与するもの。大学卒業後または大学院終了後は、採用とともに幹部自衛官(陸・海・空曹長)に任命され、教育終了後幹部自衛官となります。(金額は平成22年4月1日現在)

【お問い合わせ先】

奄美市名瀬永田町17-3 大島支庁別館 2階
自衛隊 鹿児島地方協力本部 奄美大島駐在員事務所
電話:0997-53-9103

民泊型教育旅行受入家庭募集！

瀬戸内町では、民泊型教育旅行（修学旅行）の受け入れを目指して取り組みを進めています。 ※ 民泊とは民家宿泊のことです。

近年、田舎における農林漁村の生活を丸ごと体験できる民泊型による修学旅行は増加傾向にあります。 ※ 対象は小・中・高生のみです。

鹿児島県では、こうした児童生徒の体験型修学旅行における民泊につきましては、営業等の許可が不要で、どなたでも登録することができます。各家庭での体験プログラムにつきましても、農作業や食事の手伝い、釣り、集落内散策などで、特別なものは必要ありません。 ※ 農家でなくてもかまいません。

また、民泊家庭には、一人当たり7千円程度の体験料が支払われることになっています。

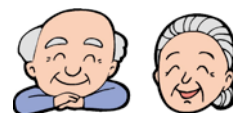
都会の子ども達との交流を通して、まちづくり（集落の活性化）につなげたいと考えています。

つきましては、修学旅行生等の民泊を受け入れていただけるご家庭を下記のとおり募集します。

みなさんからのご応募を、心よりお待ちしております！！



◆◆◆ 応募方法 ◆◆◆



次の事項を、電話又はFAX（ファックス）にてご応募ください。

①住所 ②氏名 ③連絡先 ④受入可能人数 ⑤体験プログラム

《応募先・連絡先》

〒894-1592 瀬戸内町古仁屋船津 23

瀬戸内町役場企画課 きらめき推進室（担当：田中、長、龍元）

電話 72-1112（直通） ファックス 72-1120（代表）

「道路ふれあい月間」標語の募集募集について

道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう。

◎ 平成22年度推進標語 最優秀賞 「また明日 きっと歩こう この道を」

【応募期間】平成23年3月31日（木）まで（当日必着）

【問合せ先】http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000146.html

軽自動車の廃車について

軽自動車税とは、下記所有者に対して課税される税金です。

- ① 原動機付自転車（125CC以下、ミニカー）
- ② 小型特殊自動車（農耕トラクター、フォークリフト等）
- ③ 軽自動車（総排気量660CC以下の四輪及び三輪、
125CC以上～250CC以下の二輪）
- ④ 二輪の小型自動車（250CCを超えるもの）

軽自動車税は、毎年4月1日現在、瀬戸内町内にある軽自動車を所有する人に課税されますので、譲渡された方や使用していない軽自動車をお持ちの方は、3月31日までに廃車の手続きを行ってください。

【問合せ先】

- ①、②の廃車手続きは、瀬戸内町役場 税務課 Tel72-1116
- ③、④の廃車手続きは、奄美大島自動車整備工業共同組合（奄美市和光町）
Tel 0997-52-1496

※ 軽自動車税の減免について

身体障害者（身障者、精神障害者、知的障害者）が所有する車においては障害等級により減免できます。詳しいことは税務課まで問い合わせ下さい。

建設工事等の指名願い受付について

●受付年度

瀬戸内町に本社又は営業所を置く業者・・・平成23年度分
その他町外業者・・・・・・・・・・・・・・・・平成23年度～24年度分

●受付期間

平成23年2月1日（火）～平成23年3月31日（木）

※ 例年に比べて受付時期が早まっていますので、ご注意ください。

●提出書類

「建設工事入札参加資格審査申請書」外、必要書類は町のホームページよりダウンロード出来ますのでご利用ください。

トップページ・トピックス



指名願いの受付についてお知らせ



「入札・契約関係」

平成23年度瀬戸内町建設工事入札参加資格に関する様式

【問合せ先】 瀬戸内町建設課 Tel 0997-72-1197

奄美群島振興開発基金からのお知らせ

この基金は、奄美群島の産業振興を図るため、融資業務・保証業務により事業者の方々への事業資金の円滑な供給に努めています。

★★奄美基金の主な融資制度のご案内★★

資金名	資金用途	貸付限度額	貸付期間	貸付利率
農・林業振興資金(畜産・椎茸・果樹・花き外)	設備資金	個人 1,000 万円 法人 1,500 万円	5～15 年	1.50～1.65%
水産業振興資金(漁船取得・改造外)	設備資金	個人 2,000 万円 法人 4,000 万円	5～10 年	1.50～1.65%
観光関連産業振興資金(民宿・遊漁船外)	設備資金	個人 7,000 万円	設備 15 年	設備 1.85～3.65%
	運転資金	法人 7,000 万円	運転 7 年	運転 2.25～3.35%
流通・加工業等振興資金(一時産業従事者等)	設備資金	個人 4,800 万円	設備 10 年	設備 1.85～3.65%
	運転資金	法人 4,800 万円	運転 7 年	運転 2.25～3.35%
地域資源等振興資金(大島紬・焼酎製造等)	設備資金	個人 7,000 万円	設備 15 年	設備 1.85～3.65%
	運転資金	法人 7,000 万円	運転 7 年	運転 2.25～3.35%
地域活性化・雇用促進資金(雇用の促進等)	設備資金	個人 7,000 万円	設備 15 年	設備 1.85～3.65%
	運転資金	法人 7,000 万円	運転 7 年	運転 2.25～3.35%

- ※ 貸付金利は、平成 23 年 1 月 17 日現在のものです。
- ※ 貸付期間及び貸付利率は資金用途などにより異なります。また融資にあたっては所定の審査が必要となります。
- ※ 平成 21 年 4 月から新しい資金も加わりました。(地域活性化・雇用促進資金)
- ◆保証業務は、事業者の方々金融機関から借入を行う際に、奄美基金が信用保証を行うことで、円滑な資金供給を支援する制度です。

【問い合わせ先】独立行政法人奄美群島振興開発基金
奄美市名瀬港町 1-5 TEL 52-4511 fax 52-4514



元気な笑顔教室(本島側)・でい～うもろう会(加計呂麻地区) ～ 開催地区募集のお知らせ～



町では介護予防を目的に、高齢者の生きがいづくり、地域の皆様の健康づくりのために、健康づくり推進員が各地区に出向き、教室を開催しています。

平成 23 年度の開催地区を募集いたしますので、希望される地区は下記まで申し込みください。

【期 間】平成 23 年 5 月～平成 24 年 3 月まで
《毎月開催・2 箇月に 1 回開催・年に 2～3 回開催などご希望の開催日程に調整させていただきます》

【内 容】主にグラウンドゴルフ 雨天時はレクリエーションや健康体操など
【申込方法】平成 23 年 3 月 18 日までに保健福祉課保健予防係へ申込下さい。
【問合せ先】保健福祉課 保健予防係 TEL 72-1122 (直通) 担当 林

3月6(土)～7日(日) LC杯小学生バレー大会 広報せとうち (20)

ご存知ですか？ 製造業(例:黒糖焼酎・大島紬)や旅館業(例:ホテル・民宿)等の事業主の皆様

奄美群島において建物や設備を新設・増設したときには、特別償却や県税・市町村税の免除などの措置が受けられます。是非ご活用ください。

詳細は、税務署、大島支庁県税課、市町村税務担当課、税理士へお問い合わせください。

◎ 奄美群島における税制特例措置について

1 国税(所得税・法人税)の特別償却制度 (平成10年度～)

(1)対象業種	製造業、農林水産物販売業※1、情報サービス業等※2、 ※1 奄美群島において生産された農林水産物又は当該農林水産物を原料若しくは材料として製造、加工若しくは調理したものを店舗において主に奄美群島以外の地域の者に販売することを目的とする事業。 ※2 情報サービス業、有線放送業、インターネット付随サービス業(ポータルサイト・サーバー運営事業等)、前期の業種以外で情報通信の技術を利用する方法により行う商品又は役務に関する情報の提供に関する事業(コールセンター) ※旅館業は、過疎地域(奄美群島12市町村)の中で対象業種となります。
(2)内 容	事業の用に供する設備(取得価額2,000万円超)を新設又は増設した場合に、その機械・装置につき10/100、建物・附属設備につき6/100の特別償却を認める。 ※ 設備投資をした年に、通常の減価償却に上乗せして減価償却ができるので、税の負担を安くできるメリットがあります。
(3)根拠法等	租税特別措置法第12条第1項の表の第1号のロ、ハ、第45条第1項の表の第1号のロ、ハ、同法施行令第6条の3、第28条の9

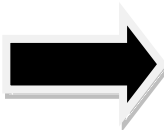
2 地方税の課税免除等 (平成11年度～)

(1)対象業種	製造業、旅館業、観光関連農林水産物販売業※4、 情報通信産業等※5、畜産業、水産業、薪炭製造業 ※4 国税の「農林水産物販売業」と同じ事業 ※5 国税の「除法サービス事業」と同じ事業	
(2)内 容	事業税	①製造業、旅館業、観光関連農林水産物販売業、 情報通信産業等 「特別償却設備」(特別償却の適用を受ける設備、取得価額2,500万円超、新設又は増設、以下同じ)に係る事業税 ②畜産業、水産業、薪炭製造業 事業日数が労働日数の1/3を超え1/2以下の個人に係る事業税
	不動産取得税	①製造業、旅館業、観光関連農林水産物販売業、 情報通信産業等 「特別償却設備」である建物、敷地である土地に係る不動産取得税
	市町村 固定資産税	①製造業、旅館業、観光関連農林水産物販売業、 情報通信産業等 「特別償却設備」である建物、機械・装置、敷地である土地に係る固定資産税(旅館業は機械・装置を除く)
(3)根拠法等	奄美群島振興開発特別措置法第6条の13、奄美群島振興開発特別措置法第6条の13の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令、奄美群島における県税の特別措置に関する条例、市町村条例	

鹿児島地方法務局奄美支局移転のお知らせ

平成23年3月7日(月)、当局奄美支局は、下記のとおり庁舎を移転しますので、お知らせいたします。

平成23年3月4日(金)まで
〒894-0026
奄美市名瀬港町2番16号



平成23年3月7日(月)から
〒894-0034
奄美市名瀬入舟町23番1号



お問い合わせ 鹿児島地方法務局奄美支局 0997-52-0376

鹿児島地方法務局総務課 099-259-0680 (代表)

とんとんの
こもりうた

創作劇

～アマミノクロウサギの子育て日記～

おはなし

僕、知ってる？
僕は、アマミノクロウサギのピンピン。
僕は、瀬戸内町の山の中に住んでいる。
お母さんはいるけど、お母さんは仕事で忙しい。
お母さんは、二日に一回しか帰ってこない。
だから、僕は、いつも一人で留守番している。
でも、僕は平気。
待っていれば、必ずお母さんは帰ってくるから。
僕に、赤ちゃんが産まれることになった。
僕は、お兄ちゃんになるんだ。
楽しみだなあ。
みんな、僕んちの赤ちゃんを見に来てね。



平成22年度文化庁
「優れた劇場・音楽堂から創造発信事業」

アマミノクロウサギの創作劇が見られる場所と日時は……

- 平成23年3月8日(火) 諸鈍小中学校体育館 19:00開演
☆入場チケット取り扱い所
瀬相待合所 75-0430 生間待合所 76-0619
 - 平成23年3月9日(水) 古仁屋小学校体育館 19:00開演
☆入場チケット取り扱い店
たんぽぽ まつや マルシエ 丸山文具店
- ☆入場料 : 大人・子ども(3歳以上) 共 1,000円

※ 詳しいお問い合わせ先は
「島の宝発見事業古仁屋祭典実行委員会」
会長 福田鶴代 連絡先〈携帯〉080-5286-3708
瀬戸内町教育委員会社会教育課 (代)72-0113

3月6(土)~7日(日) LC杯小学生バレー大会

広報せとうち(22)

3月 2011年(平成23年) せとうち情報カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
27 	28	1 ☆母子相談 ☆元気な足腰講座	2 	3 ☆遊びの広場 ☆1歳6箇月児健診 ☆男の料理教室	4 	5 ☆元気な笑顔交流会(清水) ☆LC杯小学生バレー大会～6日
6 	7 ☆きゅら島コツコツ	8 ☆母子相談 ☆元気な足腰講座	9 	10 ☆遊びの広場	11 ☆精神デイケア	12 ☆でい～うもろー交流会
13 ☆町クラブ対抗バレーボール大会	14 ☆きゅら島コツコツ	15 ☆母子相談 ☆元気な足腰講座	16 	17 ☆遊びの広場 ☆男の料理教室	18 	19 ☆親子教室 ☆青少年育成の日
20 ☆家庭の日	21 春分の日	22 ☆母子相談 ☆元気な足腰講座	23 	24 ☆遊びの広場 ☆6箇月児健診	25 ☆精神デイケア	26 
27 	28 ☆きゅら島コツコツ	29 ☆母子相談 ☆元気な足腰講座	30 	31 ☆遊びの広場	1 	2 

○母子相談、元気な足腰講座、遊びの広場、1歳6箇月児・6箇月児健診、男の料理教室、元気な笑顔交流会、きゅら島コツコツ、精神デイケア、でい～うもろー交流会、親子教室の問い合わせは、保健福祉課へ

○青少年育成の日、家庭の日の問い合わせは、社会教育課へ

○LC杯小学生バレー大会の問い合わせは、古仁屋バレーボールスポーツ少年団へ

○町クラブ対抗バレーボール大会の問い合わせは、町バレーボール連盟へお願いします。

※日程は、変更される場合があります。ご確認下さい。

戸籍の窓



「お誕生・ご結婚・お悔やみ」は1月に届けられた分のうち、希望者のみを掲載しています。(敬称略)

お誕生

おめでとう



名前 前保護者 住所

田崎 優頼 譲 福岡県

田中 琳誠 誠 嘉 鉄

泰 輝良 天 章文 古仁屋

安田 晃琉 智一 古仁屋

新 陸 秀光 節子

譽田 心彩 宏 古仁屋

ご結婚

おめでとう



元 雄治 本籍

板橋 雅也 北海道

瀬本 誠也 油井

池田 清香 古仁屋

森 秀満 古仁屋

兼 厘香 宮崎県

加藤 友和 請阿室

朝谷 美希 芝

田中 保男 薩川
田畑 健三 古仁屋
出水 あい 嘉鉄
高山 徳江 古仁屋
弓削 タツエ 久慈
重野 シゲ子 武名
祝 登與仁 阿木名
吉田 栄長 阿木名
渡 トシ子 野見山
中村 福三 野見山
松本 山富 秋徳
久保 安子 生間
田島 忠秋 諸鈍
林 純義 大島郡
早田 サチ 古仁屋
鼻 清治 篠川
圓 トヨ子 古仁屋
香典返し(社協へ)(1月分)
(遺族) (故人) (住所)
山下 宗一 ツギ船津
房 真砂子 弘久船津
田中 トシ工 保男大湊
出水 郁子 あい嘉鉄
時永 真司 節子 網野子
合計金560,000円也
奄美豪雨義援金
(氏名)
関西瀬戸内会

◇使って実感！ネットで申告「e-Tax」◇
「国税電子申告・納税システム(e-Tax)」では、自宅やオフィス、税理士事務所などからインターネットを利用して、国税に関する各種手続き(①所得税、法人税、消費税、酒税及び印紙税の申告②すべての国税の納税③納税証明書の交付請求及び法定調書の提出などの申請・届出等)ができます。詳しくは <http://www.e-tax.nta.go.jp> まで

奄美豪雨被害チャリティ募金リーヴE in福岡実行委員長 常田敏広ほか一同
スペースシヤワーネット
ワーク 青木 信自
全世界空手連盟・新極真会有志一同
瀬戸内町ふるさと心援基金
(氏名) (金額) (住所)
勝 和子 一万円 横浜市
広報紙郵送料
(氏名) (住所)
上原 ちよみ 五千円 大府市
脇田 輔文 一万円 町田市
ありがとうございました。

ねんきん コーナー



年金キャラクター
「もくもく」

もう一度「納付案内書」の確認を!

保険料の未納期間が多いと、将来もらう老齢基礎年金の額が少なくなるだけでなく、年金をもらう権利そのものがなくなる場合があります。また、障害基礎年金や遺族基礎年金も保険料の未納や納付の遅れがあると、もらえないことがあります。

半額免除等の免除を受けている人も、半額等の保険料を納めないと未納になります。お手持ちの納付書を確認して、納め忘れがある人は、お近くの金融機関・郵便局などで納めてください。納付書を紛失された方はお近くの年金事務所でも再発行してもらいましょう。

その時々届出を忘れず!

春は、就職・転勤・進学などあわただしい季節です。次のような場合には、市町村の国民年金担当窓口への届出が必要です。お忘れなく。

- ① 六十歳になる前に、会社などを退職したとき(扶養している配偶者がいる人は合わせて届出が必要)
- ② 引越などで住所が変わったとき
- ③ 氏名が変わったとき

お問い合わせ先 奄美大島年金事務所

Tel 0997(52)4341

水質浄化へ試験施工

〜河川環境の改善を目指し〜

1月11日、大島支庁瀬戸内事務所建設課と町建設課は、漁港事業により埋め立てられ、川の流れが悪くなり悪臭漂う、大湊交番派出所前の河川環境改善を目指し、エコバイオブロックの試験施工を行いました。

エコブロックは、自然界にある微生物を利用し水質浄化するため、環境に配慮した安全な公共工事です。

当日は、商工会、建設協会、観光協会などからボランティアがあり、期待の高さがうかがえます。



河川にブロックを敷く作業員

民泊型教育旅行研修会

〜地域活性化へ人材育成〜

1月11日、役場委員会室で、民泊型教育旅行ビジネス・ノウハウ研修会が行われました。この事業は、農山漁村地域において、地域資源を活用した体験プログラムなどの商品を開発し、民泊型修学旅行受入ビジネスの創業人材を育成、情報発信・営業等を実践することで、新たな地域経済の促進を図るものです。

講師の井出氏は、「瀬戸内から出来ること、地域にあるものを生かし、自分の感情を素直に伝えればいい」とアドバイスしました。



講師の話に耳を傾ける研修生

小高区区長会表敬訪問

〜盟約十周年を迎え〜

1月20日、南相馬市小高区中部地区区長会（江井富雄会長）10名が、役場へ表敬訪問に訪れました。

これは、故島尾敏雄氏を縁とした旧小高町時代に、姉妹都市盟約を結んでから今年で10年目を迎えることから、友好親善を目的に訪れたものです。

区長会は、奄美豪雨の傷跡が残る道路に驚きながらも町内を視察、小高区との違いを新たにしていました。



江井会長から親善のあいさつ

にっぽん丸寄港

〜ホノホシ太鼓でお出迎え〜

1月22日、せとうち「海の駅」へ豪華客船「にっぽん丸」（全長約167メートル、総トン数約2万2千トン・商船三井客船株）が入港し、多くの町民が詰め掛け歓迎ムードに包まれました。

にっぽん丸は、1月20日、横浜港を出港、古仁屋港を経由し、那覇港へと向う那覇クルーズの一環として入港し、乗客は一日、加計呂麻観光や物産展などで奄美を満喫していました。



船内見学をする町民

伊達直人現る

〜タイガーマスク現象本町にも〜

1月17日、町役場に「瀬戸内町の伊達直人」から水害見舞金が届けられました。メッセージには、「タイガーマスク運動に感銘を受けました。年金暮らしで少しですが復興に役立ててください」とあり、町側は、「本人の意向を尊重し大切に使用して頂きたい」として義援金として受け付けました。

※タイガーマスク現象とは12月25日、群馬県中央児童相談所の正面玄関に箱入りのランドセル10個が置かれており、カードに「伊達直人」と署名、当初誰も気付かなかったが、アニメの主人公、伊達直人が育った施設へ大人になって収入の一部を寄付する行為への時を隔てた善意の連鎖の事。



瀬戸内公演

「奄美民謡と舞踊の大共演」
1月30日、第5回交流とチャリティの瀬戸内公演（関西奄美民謡保存会主催、町文化協会共催）が、清水運動公園総合体育館で開催されました。
奄美本島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島の5地区・20教室が出演した公演に、約500名の観客が集い、会場は外の寒さに負けない熱気で溢れていました。

たんかんハサミ入れ式

「篠川のたんかん園で」
2月1日、2010年度産「奄美たんかん」ハサミ入れ式（JAあまみ大島事業本部主催）が、篠川の元克美さんの農園で行われました。今期の出荷量は、昨年の豪雨災害の影響で、昨年を下回る見込みですが、平均糖度は11度と高く、奄美たんかんのブランド確立へ弾みが付くものと期待されます。

商工会祭り

「歩行者天国で商店街賑わう」
1月29日、古仁屋中央通り、朝日通りで、商工会祭り（信島一会長）が開催されました。
祭りは、商工会の青年部と女性部が中心になり、商店街の活性化を目的に行われる恒例行事で、ホノホシ太鼓や金管バンド、フラダンスなどの舞台発表や綱引き大会、抽選会が行われ、大勢の参加者で盛り上がりました。

ハウスクリーニング

清掃前	完了	・換気扇 ・台所、浴室 ・トイレ ・窓ガラス。他
<p>(有)瀬戸内ビルシステム 代表取締役 重村 太三 瀬久井 080-1540-3614</p>		

編集後記

大相撲の八百長疑惑問題で、春場所が中止になりました。不祥事による中止は初とのこと。スポ少の豆力士の活躍や序ノ口優勝の蘇君、角界入りの川畑君と相撲の話題に事欠かない本町だけに、早期での全容解明と信頼回復に向けた再出発を願いたい。

シャープ太陽光発電システム 始めました!

- ★ 太陽光システムには10年間の保証付き
 - ★ 余力電力は売電できます
 - ★ 今なら国からの補助金も!
- 料金シュミレーション等
お気軽にお問合せ下さい
(有)ニシナ電器 代表 仁科 昇
Tel 72-0774



歓送迎会・歳の祝・法事・各種宴会承ります。

大好評 ヘルシー御膳(要予約)¥1,050 ランチのみ

毎月14日は 黒まぐろデー

郷土料理 味園 斉藤美保子
古仁屋春日 Tel 72-2276 fax 72-1708

※ 貸事務所あります。お気軽にご相談下さい。

★ 民宿あじぞの...1泊素泊まり2,700円(1人)

3月6(土)~7日(日) LC杯小学生バレー大会

広報せとうち(26)